

1. 活動の概要

6月5日（金）、出雲市高松小学校で『心に残る文化財子ども塾』を実施しました。まず体育館で出雲市教育委員会の職員および埋蔵文化財調査センター職員から地域の遺跡の説明をしました。その後、埴輪についての説明を行いました。

休憩時間の前には持参した地域の遺跡から出土した遺物や県内の古墳から出土した埴輪を見学してもらいました。

最後に3つの教室に分かれて「はにわ作り」を行いました。それぞれの生徒が自由な発想で思い思いのはにわを完成させました。

2. 活動の様子



地域の遺跡の紹介



遺物の見学



はにわ作りに挑戦



完成！

3. 子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんから・・・

- ・銅鐸・銅剣についてもっと知りたい。
- ・円筒埴輪の作り方について知りたい。

2) 先生から

- ・最初の説明をもう少し短くして頂き、埴輪づくりの時間を長くしてほしい。
- ・土器や埴輪づくりの材料等準備をしていただき、ありがたかった。

3) 埋文センターから

- ・市教委とセンター両者の説明が長くなり、体験の時間が短くなってしまいました。埴輪づくりでは小学生の皆さんの発想力の広がりに関心させられました。